2014.8.29 (金)



持論を含めて幅広い視点で考え方や思いなどを聞きました。那の中核都市である伊那市の白鳥孝市長(上伊那広域連合たいどうすれば、人口減少問題は解決に向かうのでしょうな人口減少に歯止めをかけるための取り組みが目立っていませ 程度を維持する」(骨太の方針)と目標を設定。上伊那でも近年、 て減り続けるというデータもあり、政府は「50年後も人口1億人続で減少していることが明らかになりました。今後も長期にわたっ年1月1日時点)で、日本人の総人口は平成21年をピークに5年連総務省が今夏発表した住民基本台帳に基づく人口調査(平成26 いどうすれば、人口減少問題は解決に向かうのでしょうか。上伊口減少に歯止めをかけるための取り組みが目立っています。いっ の消滅につながる。 だから極めて危険なことで、 地域 増やそうと力を入れている」 伊那市では、この年齢層を -伊那市が昨秋に策定 都会に流れたままだ」 なる。 「30~40年前は、 自分の住んでいる地 勉強し

「地域を支える人がいなくなることは、最大の損失だ」 人口問題は、 市町村単位で論じるべきではない」

-地方にとって、人口減

現状をどうとらえているか。 の人口減少問題について、 「国は人口減に対し、『女 はじめに、国・地方

性が子どもを生みやすい環 ましょう』とか一様に言って 働きやすい環境を作り っている」 対象にすること自体が間違 べきだ。一律に日本全体を し、それぞれ対応を考える 各地域をきちんと分析

は事情が全部違うわけだか だけの話だ。地方と都会で いるが、あまりにも、うわべ

少の最大のデメリットは何か。 税収の減少が大きい。し

心に、祭りや消防などを支 年齢人口(15~46歳)を中 ことが最大の損失だ。生産 域を支える人がいなくなる と小さな話だ。何よりも地 かしそれはわたしから見る える人がいなくなることは

り立たせなければならない」 うと、大きな産業ではない 方できちんと一次産業を成 分だからだ。そのために地 「なぜ農林業が大事かとい 生きるうえで基本の部

【参考データ】上伊那8市町村 2040年の生産年齢人口・老年人口の予測

57.0

(%)

60

55

50

45

40

35

30

25

20

15

10

30.2

辰野町 箕輪町

宮田村

8974人

35 0

23.6

29 6

19.9

南箕輪村

駒ヶ根市

3万3693人

2万6364人

※黒色数字は2010年実績

57.7

46 6

飯島町 中川村

伊那市

7万1093人

↑厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が昨春に公表した「日本の地域別将来推計人口」

南箕輪村

1万4543人

1万5608人

(平成25年3月推計)をもとに、編集部で図表を作成しました

59.2

ログラム』では、 『移住・定住促進プ 教育も重

るからこそ、教育が大事に 「人口が都会に流出してい

グラム』のなかで、 重視するのか。 ぜ人口対策として農林業を した『移住・定住促進プロ 市はな

中核都市である伊那市の白鳥孝市長(上伊那広域連合長)

場合、1つの方向として農 昨年の新規就農者は23人と 業からのアプローチを約4 らず、そのまま就農している」 げて取り組んでいる」 なり、ことしは目標値を上 年前から始めた。その結果、 る。しかも1組しか辞めてお 新規就農実績があり、その だ。その当時50人(組) 口の増えている業種は農林業 家族は2~3人の子どもがい 「そこで人口増を考えた 「各種データを分析する 過去5年間、 、市内で人

して打開策はあるか。

生産年齢人口(15~64歳)

59.0

伊那市 宮田村 駒ヶ根市

箕輪町

2万6214人

南箕輪村

64.1

61.9

本紙の単独インタビューに応じる白鳥市長 (7 月、市役所で撮影)

周辺町村など区分けして対

(%)

60

55 1

50

45

40

35

30

25

20

15

10

市町村

2010年

56.8

49 3

辰野町 箕輪町

辰野町

2万909人

域への誇りや思いがないと、

という話にならなかった。 晴らしい所はないよ、と_ すんだ』ということを子ども 業に勤めるという生き方が と『この地域(地元)で暮ら だから教育を通して、きちん したら地元に帰ってこよう ごく当たり前。大学を卒業 ていい大学に入り、いい企 たちに伝えていく。こんな素

そんな都合のいい話はない。 てほしい、と。しかし本来 から施設を作って面倒を見 そのみなさんが60歳、65歳 の卵』として都会に引っ張ら 界第2位の経済大国を維持 日本の高度成長期をしっか かれている。国がお金を出す ってくれないかと囁(ささや) れていたからだ。ところが、 できたのは、地方の人間が『金 になったいま、地方で引き取 「そもそも日本が長年、

老年人口(65歳以上)

26.6

伊那市

24.6

宮田村

飯島町

9902人

※黒色数字は2010年実績

6

30.5 30.3

飯島町 中川村

中川村

5074人

37 3

26.3

駒ヶ根市

40 7

道府県で長期減少が続くと 厚労省が推計した。首長と -日本の総人口は全都

大都会、都会、地方都市、 ことはできる。ただ日本を 人口減に歯止めをかける

施設などの面でも依存し ない。各地域は企業や病院、 つ)な話だ。人口問題は市 ったというのは瑣末(さま の市町村の人口が増えた減 村単位で論じるべきでは 「地方にとっても、

応しないとだめだ」

お隣 済圏でとらえるべきだ。同 は、

う。わたしが考える経済圏 じ圏域の中で一緒に考えな 論になるが、できれば伊那 いと地域は沈んでいくだろ 最小単位で上伊那。持

地方の少子化対策で重要なのは、『安心できる経済』

をどうみるか。 最高を更新した。この現実 ど三大都市圏の人口は過去 続で減少する一方、東京な で日本人の総人口が5年連 今夏、総務省の調査

まったくナンセンスな話だ。 成り立っていない。 都会と地方がバランス良く 「(都市圏への人口集中は) 国策の

「国は、都会中心の施策を早く方向転換すべきだ」 らしたのではないか」 誤りがこういう結果をもた 「国の形は都会だけで成

と国は互恵関係。お互いが っている。ところが人口 存在し合って日本が成り立

り立つわけではない。地方

都会に流出しても国はブレ こんなことをいつまでも繰り キをかけない。だから今

合っているため、1つの経 社会から大きく遅れをと 返していると、日本は国 「都市圏は、 経済を動

すエンジン的な役割はあ

るよう、一次産業の農林業 を海外に求めてしまってい しいまの日本は、その多な 食料・燃料など生きるため る。だから地方を維持でき が、直接的な生産性はない っているのは地方だ。し に基本となるものをまかれ

気、星が見える空などは 然豊かな大地や正常な空 当たり前だったはずだ」 栄養素として、ひと昔前は とが大切だ。不夜城のよう 必要か、原点に立ち返るる な繁華街が必要なのか。白 を推進するべきだ」 人として生きていくための 「人が生きていくには何が

るため、都市部のシンクタ

通で2地域居住が可能にな

「もっといえば、リニア開

にしたい」

大都市圏を支援するエリア にすると同時に、緊急時は

りいて、

最後に、人口問題に 国に望むことは。

圏で考えた場合、どんな展 て説くように、人口問題を 伊那谷、という1つの経済

> 東京に不測の事態が起きて られないかと交渉している。

機能できるし、伊那にあ

別荘を伊那・上伊那に建て

いまわたしは大使館の

伊那谷を自立した地方都市 南信自動車道の開通を機に、 「リニア中央新幹線や三遠

ことも国は検討してほしい。

(聞き手/本紙編集部)

※要旨をまとめました。

ってくるからだ。そういう

ることで地域の見方も変わ



adopura.com です。住所・氏名・連絡先を明記の上 問をお寄せください。採用させていただいた方に 0 2 6 5 - 7 6 - 5 1 4 4, できるだけ具体的に詳しい内容でお願い致します。 は〒399- 4431 伊那市西春近5839- 6 は5000円の商品券を進呈いたします。郵送先 アド・プランニング「行政」係。 本欄で取り上げてほしい行政に関する疑問・質 eメールは info@ FAXは

目標を2・00としているが、 降、「合計特殊出生率」の 今後の少子化対策で最も重 要だと考えていることは。 伊那市は平成45年以

月の大雪でも生活がまひし

発生確率も高い。 ことし2 京は首都直下型地震などの

のモデルにできるはずだ。東

られる環境がいいわけだが… が言う『女性が働きやすく が重要になる。何よりも安 があって安全でのびのび育て うお決まりの話ではない。た しかに都会の理論だと、自然 子育てしやすい環境』とかい 「しかし地方では、経済、 「いちばん大事なことは、国

と都市圏に供給できる地域

提供する体制も整備可能。 からヘリで医療や医薬品を 那谷だ。伊那中央病院など 部をサポートできるのが伊 たが、そうした事態に都市

次産業の生産物をきちん

もポジションや(一定水準の) とは難しい。行政が保育料 生めないのではないか」 給与などの保証がないと、 育てたあと、職場復帰して なく、女性が子どもを生み や医療費を安くするだけで 安心して2人目、3人目と と、子どもを生み育てるこ 心できる経済・家計がない

ば、都会に集中する人的財

や休日だけ伊那谷で過ごせ (人材) も確保できる。 週末 ンクを移すことで知的財産

る。よほど努力しないと到 目標とはいえない」 達できない数値にしないと、 率の目標は高く設定してい 「伊那市の合計特殊出生

防から経済、人的な面まで

早く方向転換すべきだ。国

国は都会中心の施策を

すべて都会に集中している。

こんな危険なことはない」

白鳥市長が持論とし

